

「若者まちづくり会議レポート」

- ◆ この報告書は、次期基本計画策定にあたり、上京区地域のまちづくりに関心のある若者・学生が集まり、上京区のまちづくり推進へ向けた具体的提案・アイデアなどをまとめたものです。（2009年11月～12月に実施）



1. 自治と地域力

○多様な年齢層、団体の地域活動への参加促進

学生・若者への地域における役割の設置。

- 町内会に入ってもらったり、地域の子供向けの寺子屋のような活動をして、役割を与える。

○【新規提案】若者が参加しやすい地域情報の発信

地域への若者参加を促すための「若者参加マニュアル」を作成。

- 学生・若者にヒアリングし、地域行事への若者の呼びかけ方やチラシづくりなど、どういった工夫をすれば参加しやすいか、などをまとめた冊子を作成して、各町内会などに配布。

地域内で、「地域の学生が運営する学生サークル」を組織化。

- 「地域の学生サークル」が組織され、地域情報は学生から学生に伝達する。

大学の掲示板やHPなどに、地域行事などの情報を掲載する。

- お祭りやバザーなど、大学の掲示板に自由に地域の情報を掲示することができるようにする。



2. まちの安心安全

○安心して歩ける環境整備の促進

店舗・施設への「駐輪場の場所表示」の義務付け。

- 自転車駐輪の多い地域なので、各店舗に、「店の駐輪場の場所の表示」をお願いする。

○自転車と歩行者が共存できるまちづくり

シェアサイクリング事業の支援・推進。

- シェアサイクル事業者への補助の実施。放置自転車の責任所在が「シェアサイクルショップ」になると良いのでは？

駐輪場や駐輪柵の増設・駐輪価格の低下。

- 立派な駐輪場ではなく、柵だけの簡単な駐輪場を設置。低価格で預けられるようにする。

○交通安全教育と高齢者のための啓発活動の推進

「自転車安全検定」の企画・実施。

- 検定ブームを利用し、「自転車検定」を実施し、マナーアップを図る。

自転車マナーの看板を設置。

- 中立売通りのように、「自転車は歩道を走らない」という注意書きをする。

学校での自転車のマナーアップキャンペーンの実施。

- 「自転車マナー」について、学校では教わる機会がないので、教える機会を持つ。



3. 福祉と健康

○ボランティア活動の促進

気軽なイベント実施からのボランティア参加者の募集。

- 例えば、「御所ウォーキング」など、まずは気軽なイベントなどから活動を知ってもらう。
- 学生チームを組織して、学生が集まりそうな楽しい企画を実施する。

障がい者・高齢者施設での学生ボランティア促進事業の実施。

- 「京都の大学に行けば、ボランティア活動が学べる」といったブランディングをできないか。

御用聞きボランティアネットワークの創設。

- さりげない声かけや安否確認など、気軽なレベルで手伝えるボランティアチームを作る。

○高齢者の生活支援

若者とケア必要者との共同生活の支援。

- 高齢者の家に下宿して、低家賃を払ってくれて、ともに生活してくれる学生を募集する。

○【新規提案】障がいのある方・高齢者との出会いの機会づくり。

障がい者・高齢者施設のオープンドーの開催。

- フリーマーケットやバレーボール大会など、地域に開かれた施設づくりを支援する。

○福祉関係機関と住民団体のネットワーク化

→ 福祉関係機関と地域団体のネットワーク化

大学と福祉関係機関の連携促進。

- 地域から大学へと行事のお知らせ案内を送ると、学生に情報が行くような仕組みを作る。
- 学生が目にするメディアに地域の情報を掲載する。



4. 暮らしと賑わい

○区民による文化活動の推進

若者も気軽に参加できる文化体験の工夫と開催。

- 「鴨川・野外茶会」など、地域行事に若者が気軽に参加できる内容や工夫、値段設定にする。
- 企画段階から、学生に関わってもらう。

企業、学生、住民、NPOらによる、総合的な上七軒プロジェクト。

- 上七軒の魅力向上のため、学生やNPOらが、事業主体になって参画。

○賑わいを創出し、暮らしを支える地域商業の振興

学生と商店街との共同イベントの開催。

- 学生と関わってほしい商店街に手を上げてもらい、大学との接点を作る。

商店街の学生向けサービスの促進。

- 商店街で学生証を見せれば、割引できるようにしてほしい。

○地域に溢れる財産と魅力を生かしたイベントの創生

御所を拠点とした地域交流の促進。

- 学生と地域住民の共同企画による、スポーツフェスティバルの開催。

○地域に溢れる財産と魅力のわかりやすい紹介と発信

青少年に向けた情報サービスの向上。

- 大学内に、行政と地域団体をつなぐ組織を作る。

「ひこにゃんに追いつけ追い越せキャンペーン」の実施。

- 積極的に、「かみぎゅうくん」がキャラクターショーや、大学のイベントに出演する。
- 「かみぎゅうくんフェア」など、商店街との共同企画を実施する。

○【新規提案】 行政事業への参画促進の仕組みづくり

学生やNPO団体が行政の事業に主体となって参画する仕組み。

- 行政の主体事業に、学生やNPOがより参画できる仕組みを作る。

○上京らしい町並みと町家の保存・再生

学生のための町家住まいの支援。

- 現代的な内装と防犯・防災設備に配慮した町家改装への補助を行う。
- 学生が町家でシェアハウス利用をすることを推奨する。

○地域に溢れる財産と魅力の分かりやすい紹介と発信

上京区名産の食べ物「上京グルメ」の創出プロジェクトの実施。

- 上京区ならではの名産品を外向けにアピールしていく。

まち歩き交流企画実施による、地域の歴史・文化の見直し。

- 市民を巻き込んだまち歩きを実施する。



5. 環境

○省エネルギー型のライフスタイル・事業活動の推進

各家庭で取り組めるエコ活動事例集の作成。

- 区役所と若者が共同で、「一人暮らしのための省エネ冊子」を作成する。

「上京区・脱マイカー宣言！」の実施

- 上京区が率先して「マイカーをやめよう宣言」をする。

今出川通りのLRT設置

- 今出川通りにLRTを設置する。

○発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の推進

「上京区エコキャンペーン」の実施

- ペットボトルや缶製品の「買わないデー」の不買キャンペーン。

マンション内交流・リサイクル事業の促進

- マンション内に「あげますコーナー」などの設置を奨励。

生ゴミの堆肥化の推奨

- 家庭における生ゴミの堆肥化を推奨する。

「上京区ゴミ三原則」を取り決め、住人・観光客への広報の実施。

- ゴミのないまちのイメージづくりとして、①. 作らない ②. 持たない ③. 持ち込ませないという、ゴミ三原則を宣言する。
- 飲み物のマイコップ持参を地図など色んな媒体で掲載
- ゴミの出る販売機会を規制する。

ゴミの出ない「エコ地蔵盆」の推奨。

- 「エコ地蔵盆」のモデル地区を決めて、エコ地蔵盆を導入していく。

○分別・リサイクル機会の拡大

地域行事における、物のリサイクルの促進。

- お祭りや地域行事は、バザーなどのコーナーとセットにして開催。

リユース食器事業者と販売者による協議の場の設置と、地域への展開の促進。

- リユース食器事業者と販売者の協議の場をコーディネートし、リユース使用量の促進を図る。

使わなくなった不法駐輪自転車の利用促進。

- 不用品リサイクルの情報を告知。
- 年度末に乗り捨てられた自転車のフリーマーケットを開催。